

ギャラリー仲摩通信

一〇一五年十一、十二月合併号

あつという間に年の瀬になりました。皆様にとつて今年はどのような一年でしたでしょうか。

私共の本年は、懐かしい

方々との再会や暫く疎遠になつていた海外作家の方から近況報告を頂くなど久しぶりにご縁が復活した嬉しい年になりました。

建築やインテリアのアートワークは長期にわたることが多く、今年は竣工に向けての準備期間となりました。来年の通信で「報告申上げます。

晴天に恵まれた十一月二十四日、車窓から富士山を拝み、豊田市美術館までのドライブを楽しみました。

今号では、豊田市美術館、建築家会館、建築家会館、展覧会を「紹介致します。



●建築家会館での再会

一九九七年、金子設計の金子修司先生の監修で神奈川県総合医療会館に池本一三さんの壁面作品とステンドグラスを納めました。（写真左）



神奈川県庁舎に設置され今は取り外されている多田美波作品（写真左上）

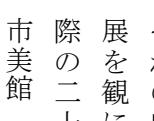
の行く末を案じた金子先生から連絡を頂



下）に起用してくれた建築家、野生司義光環境設計の野生司義光会長に再会しました。野生司先生は現在、建築家会館の社長（六代目）をされています。

思いがけない嬉しい再会でした。翌月、月例会に伺いました。

すると今度は、



林美樹さん（現在はStudio PRANA代表）がいらしていました。

本年も通信をお読みくださいり有難うございました。

少し早いですが、良いクリスマスと新年をお迎えください。

月例会が毎月開催され、館内のバーでお酒を酌み交わしながら会員相互の交流の場となっています。団々しくも門外漢の私がお邪魔しましたが、花原支配人を始め、会員の皆様が温かく迎えてくださいました。

その席で三十年も前にコペツキー氏の作品を目白坂S Tビル（写真下）に起用してくれた建築家、

野口義光環境設計の野口義光会長に再会しました。野口先生は現在、建築家会館の社長（六代目）をされています。

お問い合わせください。お興味のある方は私（仲摩）までお問い合わせください。

nakama@nakama.co.jp
TEL/090-1053-6642

●豊田市美術館

<https://www.museum.toyota.aichi.jp>



『アンチ・アクション、彼女たち、それぞれの応答と挑戦』展を観に会期終了間際の二十四日に豊田市美館

（写真下）に参りました。同館の建物は谷口吉生氏、庭園はピーターウォーカ

際に担当された日本設計（当時）の林美樹さん（現在はStudio PRANA代表）がいらしていました。

一氏の設計で一九九五年に開館しました。駐車場からのゆるい登り坂を進んでゆくと徐々に庭園と建物が姿を現します。その美しさは筆舌に尽くし難く展覧会を観る前から気分が高揚します。

会場では草間彌生、宮脇愛子、多

田美波（敬称略）を始めとする十四名の女性作家による力強い作品が並び圧巻でした。展覧会は十二月十六日から来年二月八日まで東京国立近代美術館に巡回します。

来年一月二十五日（日）の九時（予定）～NHK Eテレ「日曜美術館」で紹介されます。再放送二月一日（日）二時（予定）～

ウルスラ・フース個展

去る十月九日から十一月二十八日にドイツのチュービンゲン文化会館でウルスラ・フースさんの個展が開催されました。シートウツトガルト美術アカデミー時代から今日まで制作を続けているステンドグラスやパード・ド・ヴェールの彫刻、近作のガラス絵など四十年以上にわたる集大成となる展覧会となりました。

（ウルスラさんからのメールから）

写真は会場風景



駐輪場に設置された作品



「開館十周年記念：めぐりあう今を映す 日本の現代ガラス 1975-2025」

会期：開催中～2016年1月

二十五日

会場：二・三階 展示室1-3

閉場日：第一・三水曜日、十二月二十九日～1月1日

会場：二・三階 展示室1-3

日本現代ガラス芸術の歴史と現在を紹介。一九七〇年代後半から今日に至る激動の五十年の動向を振り返りながら、各時代を代表する作品や、ガラスの新たな可能性を提示する表現を紹介します。様々な巡り合わせの中で生まれる、作家たちの「今」の実感が映し出された作品の数々をお楽しみください。

「コレクション展 バカラ、ガレ、ドーム兄弟・・・、フランス・アール・ヌーヴォーのガラス」

会期：開催中～2016年5月31日

会場：展示室4 透ける収蔵庫

閉場日：第一・三水曜日、十二月二十九日～1月1日、五月十二日

五月六日は開場

<https://toyama-glass-art-museum.jp>

◆黄金崎クリスタルパークガラスミュージアム

「井田未乃のガラス

「折々の風景と身近な草花」展

会期：十一月二十日～2016年4月15日

会場：企画展示室

<https://fikoyo-nishizui.jp/crystal/museum/>

【編集後記】

「美術館とは、建築の外部から内部にまで作品と出会う感動を求めて辿る旅の装置である。」――谷口吉生

豊田市美術館の美しさに感動し、

H.P.を開いて見つけた言葉です。

只今金沢建築館で谷口先生の追悼展「谷口吉生の建築――静けさと豊かさの創造」を開催中です。

二〇一六年一月十八日まで。

本年の「厚情に感謝申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

（編集・発行）

TEL:090-1053-6642 FAX:045-507-3080

nakama@nakama.co.jp

ギャラリー仲摩 仲摩マサ枝